

ルワンダ共和国話題集

【国名】

- 遅くとも 14 世紀から 1962 年まで存続したルワンダ王国に由来。

【国旗】

- 2001 年、ジェノサイド以前から使用されてきた旧国旗が変更され、現在の国旗が制定された。

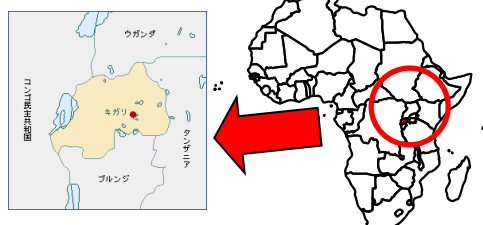


ルワンダ国旗

- 青色は青空と希望を，黄色は平和と協調を，緑色は豊かな農業と繁栄を象徴し，右上に輝く太陽は，国民の団結と未来への明るい展望を表している。
- 部族間の抗争がなくなるよう，流血を連想させる赤を使わなかったと言われる（旧国旗では，赤，黄，緑の三色が使用されていた）。

【国土】

面積は四国の約 1.5 倍（約 2.63 万km²）。首都はキガリ。人口は約 1,378 万人。



【「千の丘の国」】

- ルワンダは、丘の多い地形から、「千の丘の国」(The Land of Thousand Hills)と呼ばれる。貴重なマウンテンゴリラなどの野生動物の豊かさで世界的に知られ、ルワンダ政府は、エコツーリズムにも力を入れている。



- 首都キガリは、南緯約2度に位置するが、海拔1,500mの高地にあるため、年間を通じて快適な気候である。

【マウンテンゴリラ】

- ルワンダは、貴重なマウンテンゴリラの生息地として有名であり、ルワンダの最高紙幣である 5,000 ルワンダ・フランには、マウンテンゴリラが描かれている。
- 北東部にあるヴァルカン国立公園のマウンテンゴリラツアーは、貴重な外貨獲得手段となっている。
- ルワンダ政府は、観光と国際会議誘致に力を入れており、英国のサッカーチームのユニフォームの左袖に Visit Rwanda のロゴを入れる多額の契約を行って話題となった。



(ルワンダ、ウガンダ、コンゴ(民) 合計
800等が生息するのみのマウンテンゴリラ)

【1994 年 ルワンダ・ジェノサイド】

- 植民地時代に形作られた民族対立による内戦の勃発後，1994 年 4 月，ジェノサイドが発生し，7 月までの約 100 日間に 80 万人とも言われる市民が虐殺された。
- 日本は，その後発生した 200 万人の難民を救援するため，同年 9 月から 12 月まで，自衛隊約 400 名を，隣国コンゴ(民)のゴマに派遣した（当時国連難民高等弁務官を務めていた緒方貞子元 JICA 理事長はルワンダ難民救援に尽力）。
- 2006 年には，ルワンダ大虐殺を題材とした映画『ホテル・ルワンダ』が日本でも公開された。
- ルワンダは，ジェノサイドの後，国民融和の取組を進めており，その一環として出身部族を示す身分証明証を廃止している。

【ICT 立国】

- ルワンダは、ジェノサイド以降、急速な発展を遂げてきており、過去 10 年間の経済成長率は 7.5%で、「アフリカの奇跡」とも呼ばれている。世界銀行の Doing Business 2019 では、アフリカで 2 番目にビジネスのしやすい国として評価されている。



（自然と高層ビルが見られるキガリ市内）

- ルワンダ政府は，ICT 立国による国造りを進めている。アフリカの ICT 拠点となることを目指し，国内のインターネット網は国土の 95% をカバーしており，2024 年までに生徒 1 人にパソコン 1 台を配付する計画もある。



(One Laptop Per Child 計画が 500 フラン紙幣に描かれている)

- なお，米国の IT 企業との協力により，世界で初めてドローンを使った血液及び医療品の配達事業を行っていることでも有名である。



【女性の社会進出】

- ルワンダは、女性の社会進出が進んでおり、特に国会（下院）における女性の割合は63.8%で、世界1位となっている（日本は10.8%、世界160位）。
- これは、2003年の憲法改正により、国の全ての機関で少なくとも30%の人員を女性に割り当てることが定められたことが契機となっている。女性の政治進出が進んだことで、相続における男女平等や所有地の売却には夫婦双方の合意を必要とするなど、女性の権利を保障する法改正が行われている。

【ルワンダ・コーヒー】

- ルワンダでは、国民の約7割が農業に従事しており、コーヒーと紅茶が貴重な外貨獲得手段となっている。特に、アラビカ種を中心とした高品質コーヒー（スペシャルティ・コーヒー）は国際市場で高く評価されている。
- JICAは、ルワンダのコーヒー産業を振興するため、コーヒー専門家や青年海外協力隊員による各種支援を実施してきている。
- 日本のルワンダからのコーヒー輸入は、2022年は、約3.8億円。

【日本の地方自治体との交流】

- リンドウの生産 日本一の岩手県八幡平市は、ルワンダの日本企業と協力し、ルワンダでリンドウの生産を行っており、ヨーロッパにもリンドウを輸出してきている。こうした縁から、八幡平市は、2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとなっており、ルワンダ選手団は八幡平市で直前合宿などを行う予定である。



(ルワンダにあるリンドウ農園)

- 兵庫県神戸市は、ルワンダとのイノベーション及び ICT 分野におけるパートナーシップを通じて、同国からの留学生の受け入れや人材育成を通じた人的交流及び経済交流を行っている。

【服部正也『ルワンダ中央銀行総裁日記』】

- 日銀から I M F に出向していた服部正也氏は、1965 年、ルワンダ中央銀行総裁として派遣され、6 年間にわたり独立後間もないルワンダ中央銀行総裁を務め、ルワンダの経済財政政策の基盤作りに貢献した。その経験は、自著「ルワンダ中央銀行総裁日記」（中公新書）として残されている。
- 服部氏はその後日本人初の世銀副総裁に就任。1997 年のカガメ副大統領（当時）訪日時には表敬を行った。1999 年没（享年 81 歳）。

【食べ物】

- ルワンダでよく食べられているのものとして、サツマイモ、豆類、トウモロコシ、キャッサバ、キビなどがある。
- 代表的な料理としては、淡水魚ティラピア (Tilapia) のグリル、ウガリ (Ugali) (キャッサバを湯でこねたもの)、マトケ (matoke) (焼きバナナ)、ウムチマ (Umutsima) (キャッサバとトウモロコシのペースト)、イソンベ (isombe) (キャッサバの葉となす・ほうれん草のペースト) などがある。



(ティラピア, 焼きバナナ, ウガリ等)

(了)